

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587051101	科目番号 / Subject code	05870511
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	コミュニケーションの生物学 (男と女の脳)COC+ / Male Brain, Female Brain		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki, 土居 裕和 / Doi Hirokazu, 菊野 雄一郎 / Kikuno Yuichiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki, 土居 裕和 / Doi Hirokazu, 樽見 航 / Tarumi Wataru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	大学院医歯薬学総合研究科 神経機能学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7033		
担当教員オフィスアワー/Office hours	16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	社会的コミュニケーション能力には著名な性差が見られるのみならず、脳の性分化異常が社会的コミュニケーション能力障害をもたらすことが明らかにされている。本講義では、神経内分泌学、精神医学、心理学等の知見を俯瞰することで、コミュニケーション能力の個人差と脳の性分化の関わりについて理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1. コミュニケーション能力の個人差と脳の性分化について、意欲的に学習することができる(学ぶ力)。 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができる(考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができる(関わる力)。 4. 講義内での議論、プレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができる(表現する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	レポート 25 グループ学習 25 プレゼンテーション 25		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	脳、性分化、フェロモン、社会的コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	1. 神経科学?脳の探求? ベアー他(著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン(著) 丸善 3. 人にフェロモンはあるのだろうか??ヒトケミカルコミュニケーションの生理学(香りの選書16) 柏柳誠(著) フレグランスジャーナル 4. The Mommy Brain: How Motherhood Makes Us Smarter Katherine Ellison(著) Basic Book		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	脳と社会性
第2回	脳の形態と機能
第3回	脳機能の性差
第4回	ホルモン・フェロモンの科学
第5回	心理学的性の脳科学
第6回	グループ学習（1）
第7回	魅力の神経生物学
第8回	脳科学・行動科学実験体験（1）
第9回	遺伝子・ホルモン解析の基礎
第10回	グループ学習（2）
第11回	恋愛・結婚の脳科学
第12回	脳科学・行動科学実験体験（2）
第13回	母性・父性の脳科学
第14回	グループ学習（3）
第15回	グループ学習成果発表会

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587051301	科目番号 / Subject code	05870513
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15361_005		
授業科目名 / Subject	コミュニケーションの生物学 (脳の成り立ちと働き) / Brain Development and Functioning		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有賀 純 / ARUGA Jun, 篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki, 中川 慎介 / Nakagawa Shinsuke, 松永 隼人 / Matsunaga Hayato, 畑山 実 / Hatayama Minoru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有賀 純 / ARUGA Jun		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有賀 純 / ARUGA Jun, 中川 慎介 / Nakagawa Shinsuke, 松永 隼人 / Matsunaga Hayato, 畑山 実 / Hatayama Minoru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	大学院医歯薬学総合研究科 医科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7043		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 16:30?17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現 在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。自ら講義を行う ことを体験し、発表スキルを高めるとともにより良い講義のあり方について考える。		
授業到達目標/Course goals	1.脳科学と社会性行動の成り立ちについて、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力) 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることが できること(考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。 4. 講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言するこ とができること(表現する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	出席点(予習課題) 20 講義評価 20 講義における質疑応答への参加 20 体験講義 40		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	パワーポイントの使い方を勉強しておくこと。体験講義担当者は渡された資料だけでなく、自らの 興味に応じて講義内容を拡張してもよい。発表日の5日前にはパワーポイント講義資料を教官に提出 して、改訂のアドバイスを受ける。参加者は講義当日にLACSから、その日の講義の評価を入力す る。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	1. 神経科学-脳の探求- ベアー他(著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン(著) 丸善		
受講要件(履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	神経生物学入門：脳と行動
第2回	ニューロンとグリア
第3回	シナプス伝達
第4回	神経系の構造
第5回	神経系の発生と発達と進化
第6回	脳と感覚系 1
第7回	脳と感覚系 2
第8回	脳と運動
第9回	脳と情動
第10回	脳と言語・社会性
第11回	脳と記憶・学習
第12回	脳と幹細胞・再生医療
第13回	脳と疾患
第14回	脳と血管・創薬
第15回	脳と治療薬

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587051501	科目番号 / Subject code	05870515
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	コミュニケーションの生物学 (反平和学～人はなぜ不幸になるのか) / What Is 'Unhappiness' ?		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro, 篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyoyo_zen ml.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本講座は教員(黒滝)が講義した「平和講座」の中で、「平和を希求するには、核兵器を持つ人の気持ちを知らなければならない。いっそのこと、戦争学でもやるか」との発言に、ある学生が「それならば(その講義も)絶対に受講しますよ」との声をきっかけに開講した。目的は精神医学を武器として身の回りにある「不幸」を徹底的に解析することである。なぜ人は病気になるのか、なぜ核兵器は(おそらく簡単には)なくならないのか、同様に自殺はなくならないものなのか、などをかなり真面目に考える。		
授業到達目標/Course goals	各テーマごとに自分で調べ、考え自分の言葉で表現することを最大の目標とする。社会で起きている様々な現象、事件、をテーマとして取り上げる。思想信条は問わない。直近では、本年(平成27年11月)にフランスで起きたテロ事件が一つのテーマである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	筆記試験は行わない。レポート50%、発表30%などの他、出席状況も評価に含める。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	平和、不幸、対話		

<p>教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book</p>	<p>以下は全て参考書である。 1) 何でもいいので新聞を半年は読み続けること。何が現代社会の話題になっているかを知ること。 2) <対話>のない社会、中島 義道 3) 反知性主義: アメリカが生んだ「熱病」の正体、森本あんり 4) 以下は本授業の教科書として全て図書館に揃えてある。 1 原子力安全基盤科学1: 原子力発電所事故と原子力の安全 山名元 京都大学学術出版会 2017 2 浜岡原子力発電所の地盤の安全性を検証する: 申請書を基本にして 越路南行 本の泉社 2014 3 原子力発電所の事故・トラブル?分析と教訓? 二見常夫 丸善出版 2012 4 チェルノブイリ原子力発電所事故?コンクリート構造物に及ぼした影響 A.F. Milovanov (著), Zh.M. Larionova (著), V.V. Solomonov (著), 青柳 征夫 (翻訳) 技報堂出版 2013 5 原発危機 官邸からの証言(ちくま新書) 福山哲郎 筑摩書房 2012 6 人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊(文春新書) 井上智洋 文藝春秋 2016 7 決定版AI 人工知能 樋口晋也/城塚音也 東洋経済新報社 2017 8 ビッグデータと人工知能?可能性と畏を見極める(中公新書) 西垣通 中央公論新社 2016 10 3日で変わるディズニー流の育て方 櫻井恵里子 サンクチュアリ出版 2017 12 ディズニー化する社会(明石ライブラリー) アラン・ブライマン 明石書店 2008 13 ディズニーランドの社会学: 脱ディズニー化するTDR(青弓社ライブラリー) 新井 克弥 青弓社ライブラリー 2016 14 少子社会日本?もうひとつの格差のゆくえ(岩波新書) 山田昌弘 岩波新書 2007 16 21世紀、日本は何処へ行く 少子高齢化の闇を超えて 今村金弥 文芸社 2016 17 日本は世界一の環境エネルギー大国(講談社+ 新書) 平沼光 講談社 2012 18 原子力発電(岩波新書) 武谷光男 岩波書店 2013 19 原子力発電の政治経済学 伊東光晴 岩波書店 2013 20 国際エネルギー情勢と日本(エネルギーフォーラム新書) 小山 堅, 久谷 一朗 エネルギーフォーラム新書 2015 21 いじめの構造?なぜ人が怪物になるのか(講談社現代新書) 内藤 朝雄 講談社 2009 22 いじめ問題をどう克服するか(岩波新書) 尾木 直樹 岩波書店 2013 23 いじめの社会学理論?その生態学的秩序の生成と解体 内藤朝雄 柏書房 2001 24 日本の国境問題 尖閣・竹島・北方領土(ちくま新書) 孫崎 享 筑摩書房 2011 25 地図と年表で見る日本の領土問題 浦野起央 三和書籍 2014 26 危機の外交 首相談話、歴史認識、領土問題(角川新書) 東郷 和彦 KADOKAWA/角川書店? 2015 27 差別感情の哲学(講談社学術文庫) 中島 義道 講談社 2015 28 差別とハンセン病 「終の垣根」は今も(平凡社新書) 畑谷 史代 平凡社 2006 29 「LGBT」差別禁止の法制度って何だろう? LGBT法連合会 かもがわ出版 2016 30 創られた「人種」 部落差別と人種主義(レイシズム) 黒川 みどり 有志舎 2016 31 ヒトラーとナチ・ドイツ(講談社現代新書) 石田 勇治 講談社 2015 32 ナチスの戦争1918-1949 - 民族と人種の戦い(中公新書) リチャード・ベッセル (著), 大山 晶 (翻訳) 中央公論新社 2015 33 ナチスの時代?ドイツ現代史(岩波新書) H.マウ (著), H.クラウスニック (著), 内山 敏 (翻訳) 岩波書店 1961 36 対象喪失?悲しむということ(中公新書) 小此木 啓吾 中央公論新社 1979 37 認知症の人を愛すること: 曖昧な喪失と悲しみに立ち向かうために ポーリン・ボス (著), 和田 秀樹 (翻訳), 森村 里美 (翻訳) 誠信書房 2014</p>
<p>受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.</p>	<p>受講要件は特に問わないが、(時間割的に可能であるならば)本講座と並行して「平和講座」と「シネマサイキアトリー」の受講をお勧めする</p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考(URL)/Remarks(URL)</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>自分の言葉で自分の考えを語ることを学んでください。様々な困難の中で生きていく時の力になると思います。</p>
<p>授業計画詳細/Course Schedule</p>	
<p>回(日時)/Time(date and time)</p>	<p>授業内容/Contents</p>
<p>1</p>	<p>各回の授業内容については、第1回目のオリエンテーション時に説明致します。</p>
	<p>授業手法/Lesson method</p>
	<p>A</p>